



株式会社ロゼッタ

2018年2月期 第3四半期  
業績説明資料  
(2017年3月～2017年11月)

株式会社ロゼッタ (東証マザーズ : 6182)



2018年1月12日

① 2018年2月期第3四半期の連結業績は増収減益。

減益の主要因は、新規事業の売上未達と機械翻訳の開発先行投資を最優先とすべく経営方針を転換したことによる。

② ブレークスルーした機械翻訳の開発は、医学・化学・法務・金融・ITの5分野の英日翻訳で精度95%を実現。

③ 11月27日にリリースした『T-400 (ver.2)』により、12月のMT事業新規受注売上は2.5倍（第3四半期月間平均対比）に拡大。

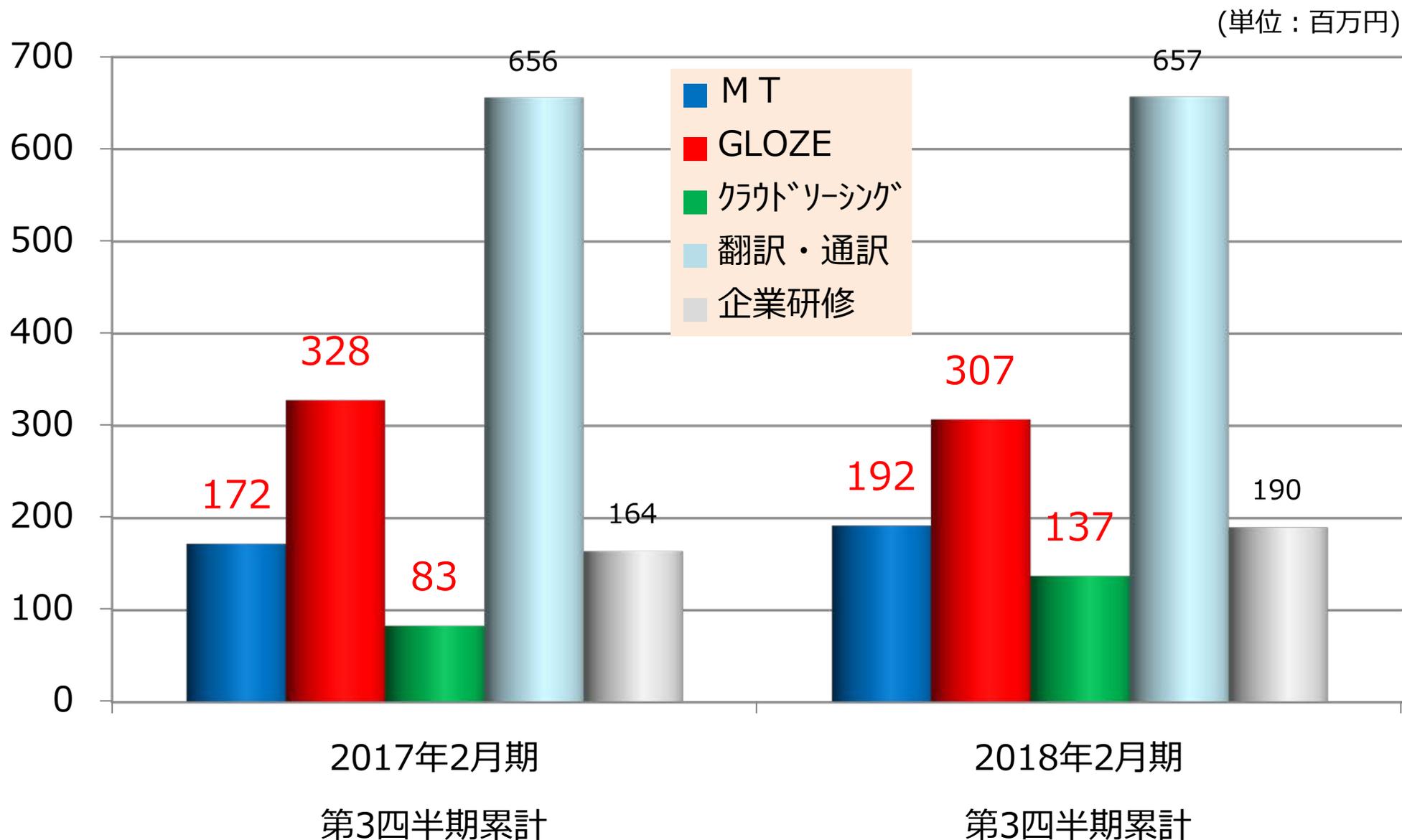
④ 第4四半期以降、高精度化した機械翻訳を核とした販売体制の大幅な拡大・業務提携・M&Aにより、一気に成長を加速させるステージへ。

# 2018年2月期 第3四半期 連結損益計算書

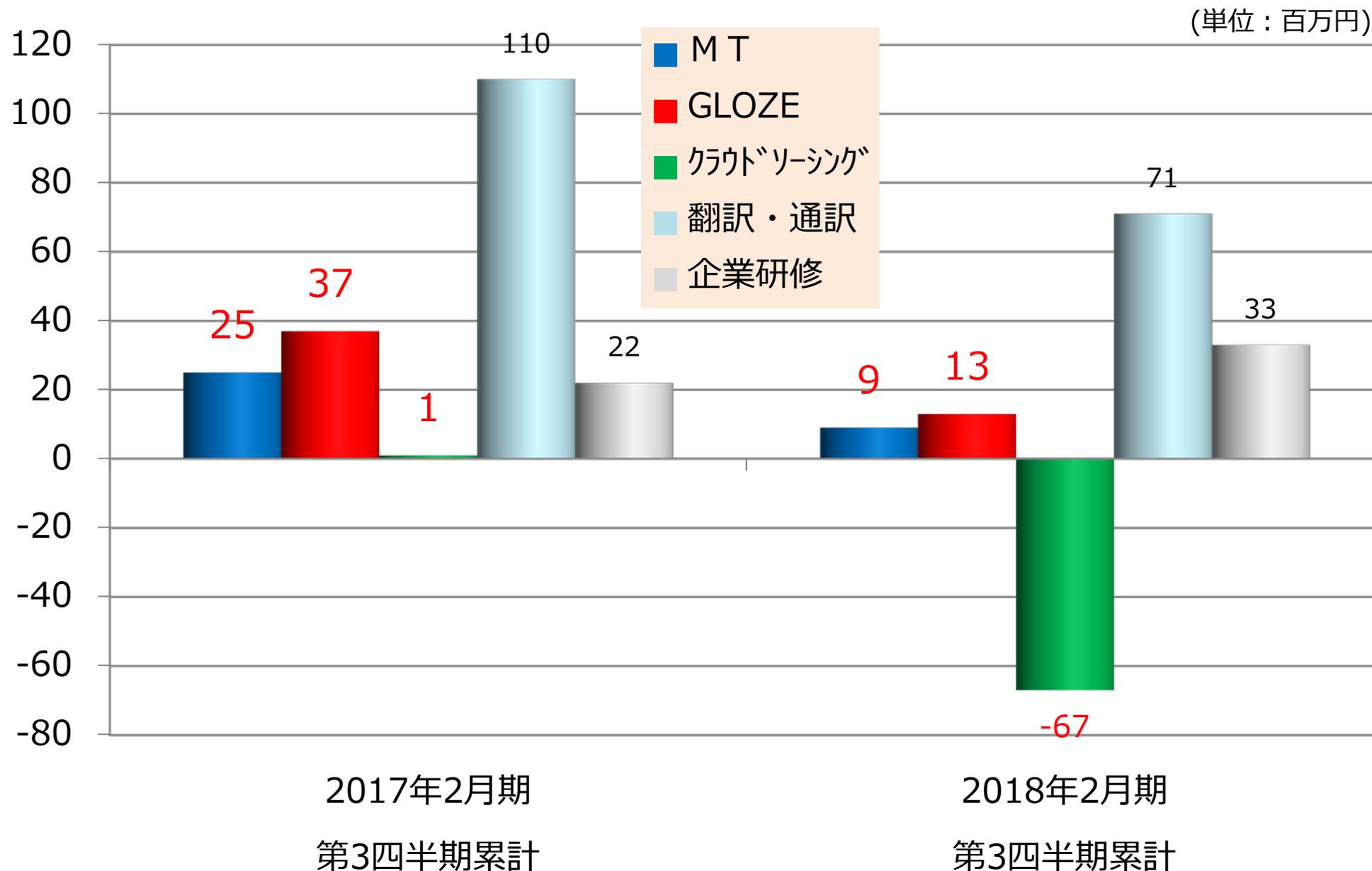
(単位：百万円)

	2017年2月期 第3四半期累計	2018年2月期 第3四半期累計	前年比	通期業績 予想	進捗率
<b>売上高</b>	<b>1,405</b>	<b>1,486</b>	<b>105.8%</b>	<b>2,300</b>	<b>64.6%</b>
売上原価	634	678	106.9%	1,075	63.1%
売上総利益	770	807	104.8%	1,225	65.9%
販売費及び一般管理費	607	798	131.3%	1,175	67.9%
<b>営業利益</b>	<b>162</b>	<b>9</b>	<b>5.6%</b>	<b>50</b>	<b>あと41</b>
<b>経常利益</b>	<b>161</b>	<b>8</b>	<b>5.5%</b>	<b>50</b>	<b>あと42</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>98</b>	<b>▲17</b>	<b>—</b>	<b>16</b>	<b>あと33</b>

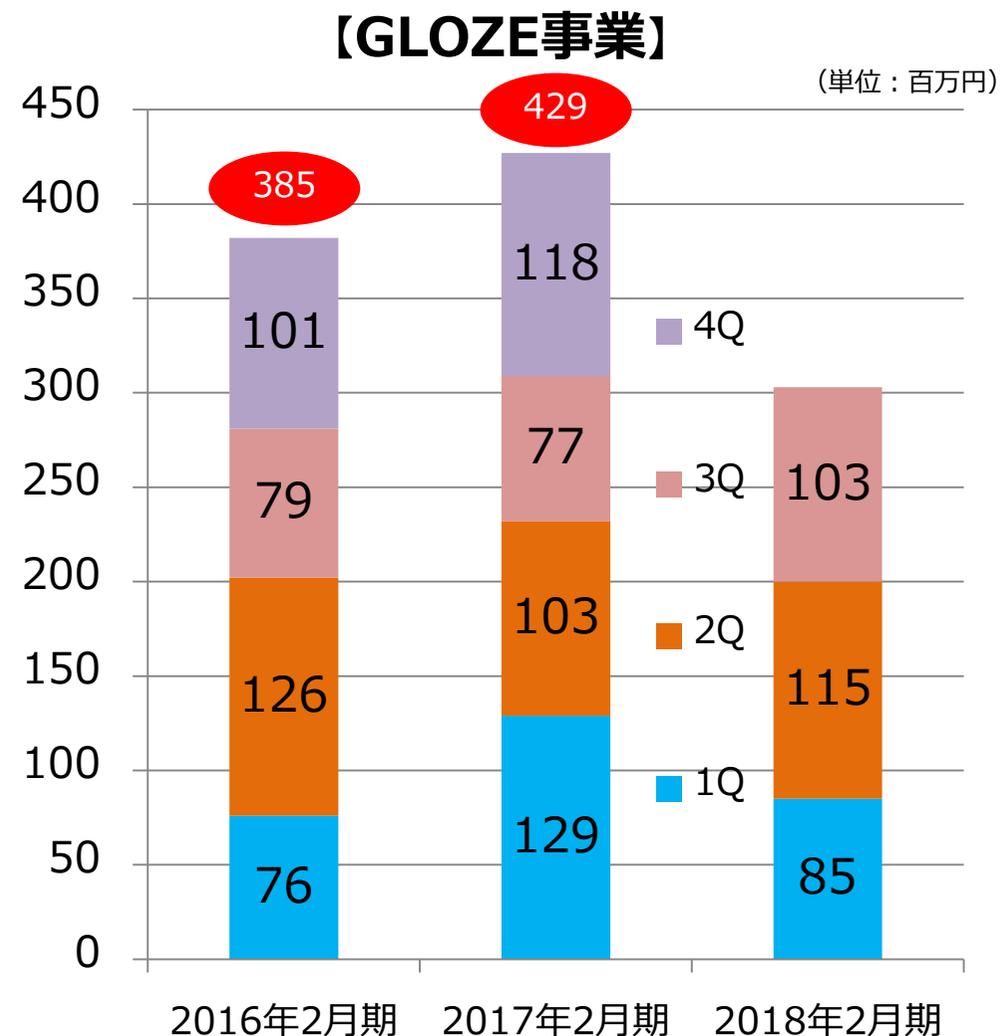
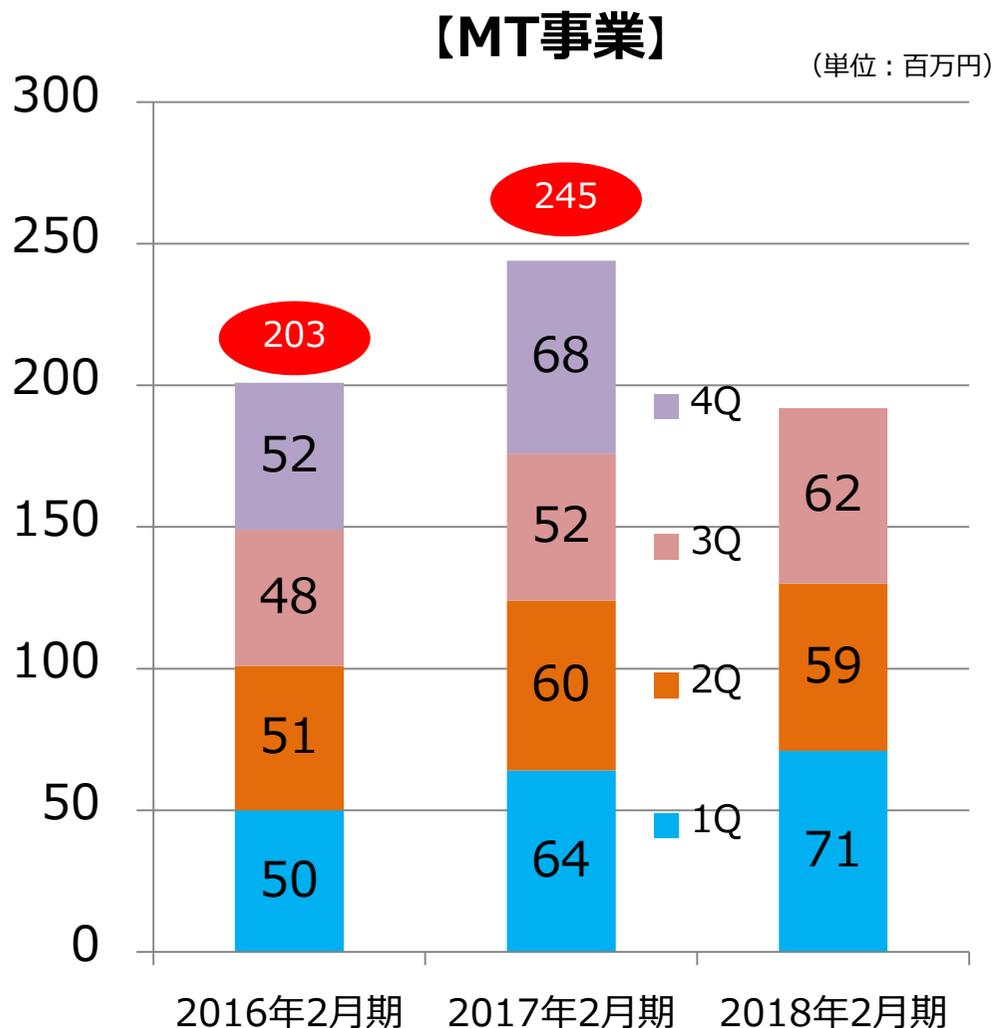
# セグメント別売上高 前年同期比較



# セグメント別営業利益 前年同期比較



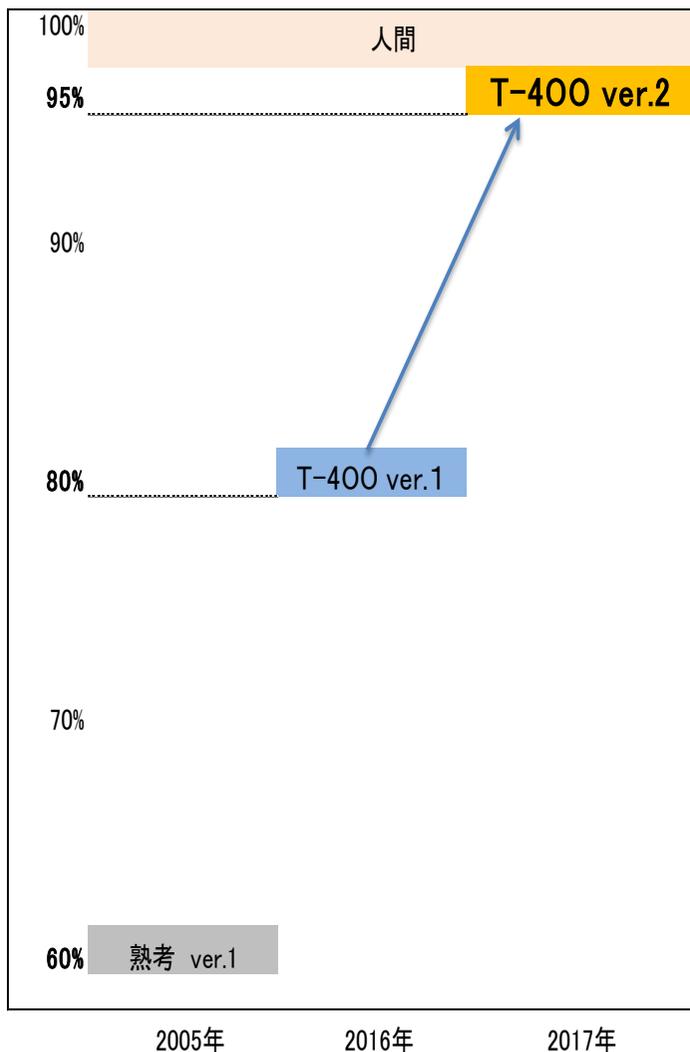
# MT事業・GLOZE事業 受注高推移



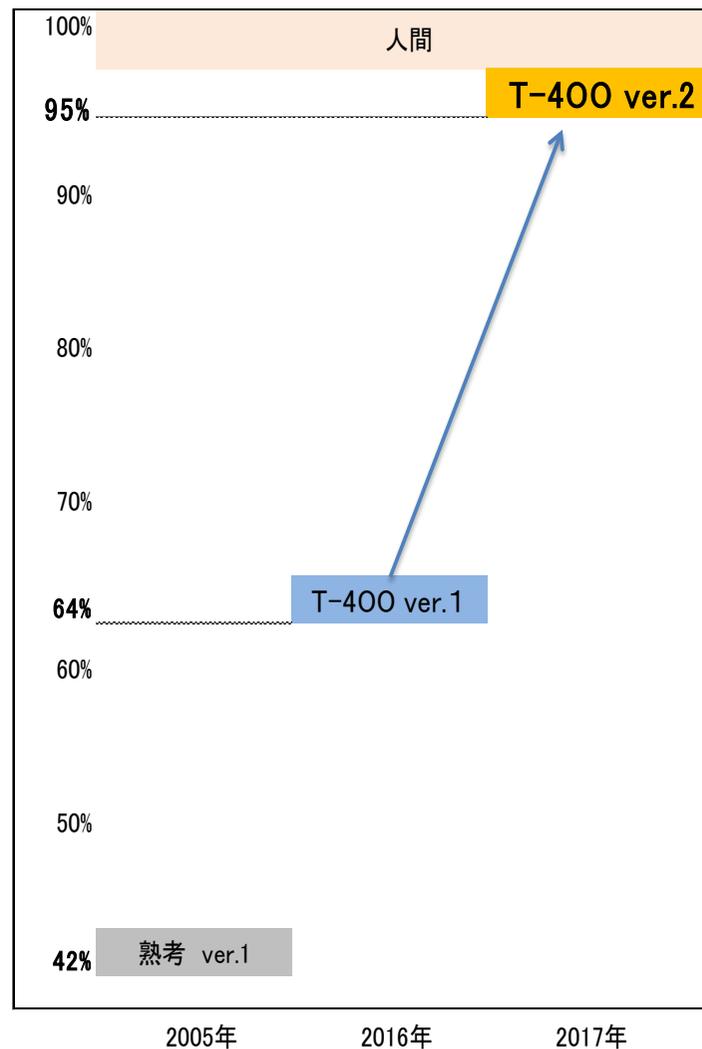
- ・ 受注ベースでの売上推移（財務諸表上の売上ではない）。
- ・ 【MT事業】は、SaaS『熟考』『T-400』シリーズの受注売上のうち、初期費用と年間利用料のみに限定。（リライト・DTP等のオプション売上、リソースデータ販売等の売上を除く）
- ・ 【MT事業】【GLOZE事業】ともに、外部への販売数値のみ（グループ内部取引による売上を除く）。

# 翻訳精度の推移 『T-400 ver.2』 2017年11月27日リリース

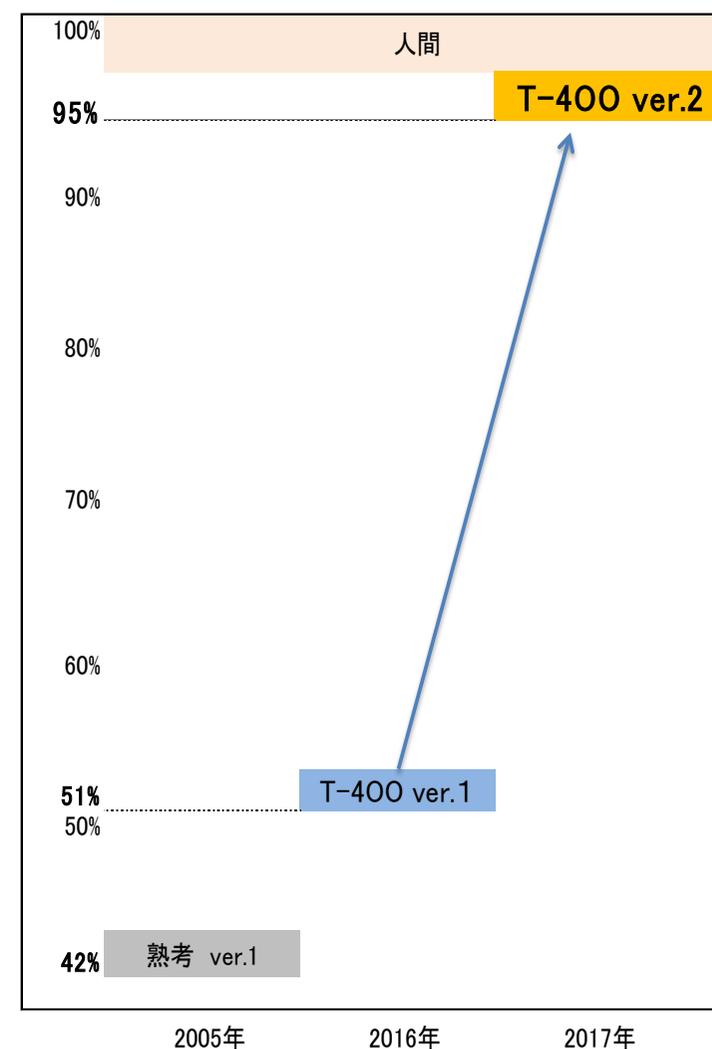
## 医学分野



## 法務分野

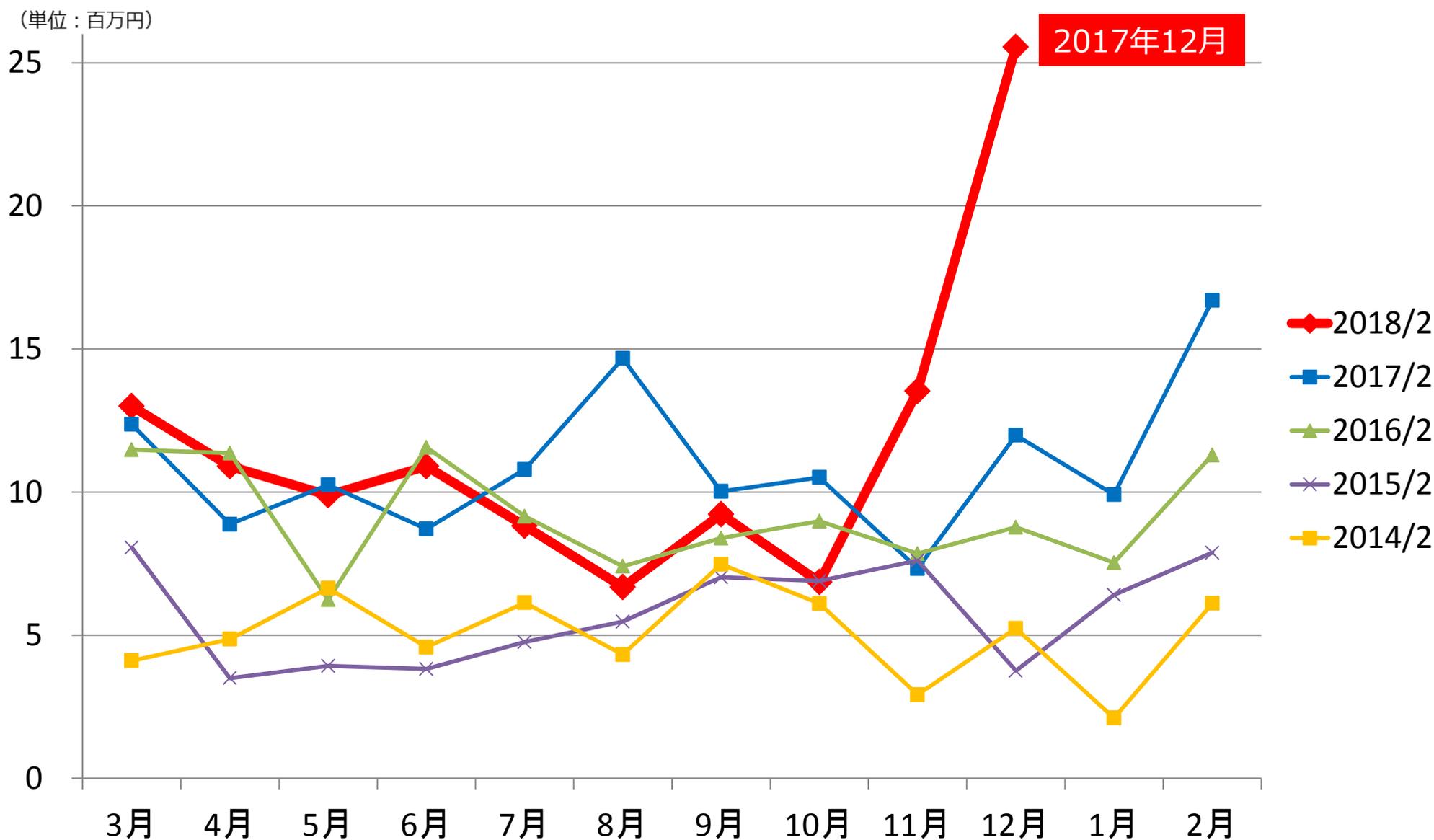


## 金融分野



翻訳精度数値は英日翻訳の人目評価による当社比の指標です。  
 精度95%とは、弊社が上場時に「ほぼ人間に匹敵する」精度として2025年までの到達目標として設定していた水準で、「プロの専門翻訳者以下、非専門翻訳者以上」として認識しております。

# MT事業 新規受注売上推移



# 販売体制の拡大・業務提携・M&A

## 【業務提携】

★2017年10月13日

株式会社ミニマル・テクノロジーズと業務提携（ECサイト）

★2017年12月4日

弁護士ドットコム株式会社と業務提携（法務分野）

★2018年1月12日

株式会社フィナンテックと業務提携（金融分野）

## 【M&A】

★2017年12月15日

GMOグループからGMOスピード翻訳株式会社の全株式を取得し  
完全子会社化（新社名：スピード翻訳株式会社）

★2018年1月12日

株式会社インターメディアの完全子会社化についての基本合意

我が国を  
言語的ハンディキャップの  
呪縛から解放する

[www.rozetta.jp](http://www.rozetta.jp)

## ご留意事項

- 本資料は、株式会社ロゼッタの業界動向及び事業内容について、株式会社ロゼッタによる現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 株式会社ロゼッタの実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来展望に関する表明は、2018年1月12日現在において利用可能な情報に基づいて株式会社ロゼッタによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

本資料のお問合せ先  
株式会社ロゼッタ  
社長室 酒井

お電話でのお問合せ：03-6685-9570

FAXでのお問合せ：03-6685-0672

メールでのお問合せ：[ir@rozetta.jp](mailto:ir@rozetta.jp)